

「宮城ボランティア2016」を実施しました。

敬愛大学では、東日本大震災の発生した2011年から、毎年夏休みに宮城県での復興支援ボランティア活動(通称:宮ボラ)を行っています。この大災害があったこと、その災害により多くの方が日常を奪われたこと、そして些かでも復興の後押しをしながら「決して忘れない」ことを、2泊3日の機会に学び確認し合うことを目標にしてきました。年1回、しかもわずか3日間の活動に過ぎませんが、参加してきた学生たちは多くを学ぶことができました。



平成28年度の「宮ボラ」は、初めてボランティアセンターが主催し、「見る、聞く、話す」をテーマに8月8日～10日の2泊3日で開催、学生22名が参加しました。第1回から続く尚綱学院大学(宮城県名取市)とのご縁で、今年も名取市閉上地区で被災された方々との交流をさせていただきました。また初の試みとして、仙台市の平和七タや女川町、石巻市、南三陸町にも足を伸ばし、様々な研修を行いました。

このページでは、今年度の活動を記録し、紹介してまいります。

宮城ボランティア2016活動報告書

ダウンロードはこちらからどうぞ。(PDF: 17.96 MB)

1日目 稲毛→名取

朝7時に稲毛を出発した学生たちは、まず名取市の「愛島東部仮設住宅」を訪問。自治会の長沼俊幸さん、尚綱学院大学の庄司則雄先生からお話を伺うことから、研修が始まりました。それぞれ被災経験やそこから学んだこと、今後課題となることなどを丁寧に伺いました。

その後、仮設住宅の住民の皆さんを集会所に招き入れ、じっくり2時間茶話会を実施。仮設住宅を離れる方も増えているようで、例年よりはご一緒した住民の方々は少なめなようでしたが、特に仕掛けや演し物もせず、じっくりのんびりと住民の皆さんに寄り添い、笑いながら語り合いました。

夕方には仙台七タの会場に赴き、「平和を祈る七タ市民の集い」の油谷重雄さんから「仙台平和七タ」の活動について伺い、皆で折鶴を折らせていただきました。



愛島仮設住宅での交流会では、じっくり傾聴活動を



仙台「平和七タ」会場での研修

2日目 名取→石巻、女川、南三陸

朝9時に長沼さんに再会し、閉上地区のシンボルである日和山を案内していただきました。地震と津波、寒さと不安の中でなんとか命を守ることができた様子を伺うことができました。隣接する「閉上の記憶」では、当時の記録映像などを拝見しながら、住民(特に子どもたち)の心のケアのための活動などについても説明を受けました。

続いて尚綱学院大学の佐々木真理さんの案内で、仮設住宅から転居してきた方々が住む美田園復興公営住宅へ。ここでも短い時間でしたが、閉上地区で被災された住民の皆様や尚綱学院大学の学生たちと交流する時間を持つことができました。

昼食を挟んで女川町では、田村孝行・弘美ご夫妻から津波の恐ろしさや企業防災について熱いお話を伺うことができました。また大川小学校跡地では、藤森ボランティアセンター長が案内していたところ、偶然通りかかったご遺族の佐藤和隆さんから貴重な資料を頂戴しました。

夕食後は、志津川サンシズジュニアのみなさんにおいでいただき、三線の音色と元気な歌声をプレゼントしていただきました。



関上地区にある日和山での研修



「関上の記憶」での研修



美田園復興公営住宅での傾聴活動



女川町ではご子息を亡くされたご夫妻からお話を伺った



南三陸町で活躍する「サンシズジュニア」とも交流



サンシズジュニアのみなさんとの集合写真

3日目 南三陸→稲毛

最終日は研修プログラム「南三陸、今をいきる」に全員で参加。南三陸町の震災での被災状況や今後の街づくりについて、南三陸研修センターの伊藤愛さんから説明を受けたのち、同センター代表理事の遠藤健治さん(震災当時、南三陸町副町長)の案内で、町内現地踏査を実施。震災後に廃校になった中学校、旧防災庁舎や魚市場など、待ちが大きく変わっていく様子を案内していただきました。

昼食は、さんさん商店街で。キラキラ井などの地元の海産物を味わった後、一路稲毛に戻りました。車内では一人ひとりがふりかえり発表。一人3分程度の予定が、気がつけば1時間半を超える長時間に。それだけ一人ひとりの収穫がおおかったということでしょう。



旧防災庁舎で遠藤元副町長からお話を伺う



南三陸さんさん商店街にて。

今年の「宮ボラ」でも、尚絅学院大学をはじめ実に多くの皆様にお世話になりました。ここに深く御礼申し上げます。なお現在、参加者全員で報告書をまとめる作業を行っております。9月中には完成させ、本ホームページでも公開する予定です。

■ 過去の「宮城ボランティア」はこちらからご覧ください。

[2015\(平成27\)年度 宮ボラ](#)

[2014\(平成26\)年度 宮ボラ](#)

[2013\(平成25\)年度 宮ボラ](#)

[2012\(平成24\)年度 宮ボラ\(その1\)](#)

[2012\(平成24\)年度 宮ボラ\(その2\)](#)

[2011\(平成23\)年度 宮ボラ](#)